

平成 29 年 6 月 19 日

北海道農業者サロン
会員各位

北海道農業者サロン
理事長 喜多 俊晴

夏期研修会のご案内

夏期研修会の案内を纏める準備を始めた時点での新聞記事から。「日欧 EPA/乳製品輸入枠 3 万トン。豚肉関税は大幅下げ」「日欧 EPA 大枠合意も/来月視野。道内打撃 TPP 並み/政権、通商で成果急ぐ」（道新 6 月 14 日）など、今度は欧州との熱い戦い。

7 月 7～8 日の G20 に合わせるといのがとっても気になる。

6 月 16 日付道新で「車関税 10 年内、主要部品即時撤廃」、当然引き換えに「チーズ・ワイン等の市場開放容認」との記事。

この 9 日、改正畜産安全法成立。「生乳流通改正法成立/道内酪農家 歓迎と懸念」「選択肢増える/需給が混乱。補給金対象を拡大/来年 4 月施行」（道新 6 月 10 日）との報道。

13 日にはテレビ東京系「ガイアの夜明け ーバター不足の闇ー」、2016 年 11 月 22 日「バター不足は俺らが仕掛けてボロ儲けなんですよ ーホクレンー」で炎上した「ガイアの夜明け」の続編。再放送は、6 月 23 日 BS ジャパン 18:00～18:54 [再び、巨大“規制”に挑む！「バター不足」さらなる闇]とのフレーズ。スマホのネット検索で「ガイアの夜明け、バター不足の闇」を拾うと、この 2 作品とも賛否を含めとってもドラマチックに観戦できる。

「改正畜産経営法」で「これまで生乳の流通だけが特殊な世界だった農家にとって、自由に選択できる可能性が広まった」と道新に語った別海 島崎美昭氏らの MMJ 供給 富士乳業加工販売「別海のおいしい牛乳」は、伊勢崎市で大手メーカー 1ℓ 230～248 円（税込み）に 1ℓ 178 円（税込み）で販売を増やし、台湾 全聯福利中心（スーパー）でアメリカ・オーストラリア・台湾牛乳に混じって最も高い価格を設定。台湾製品の 2 倍（196 元/720 円）での販売を決定するシーンも放送される。

6 月 13 日付道新に「北大と道経済部、食で協定」の記事。2014 年、北大大学院農学研究院（横田篤）と農政部・水産林務部と提携協定があり、今回は経済部と北大大学院国際食資源学院（井上京）を巻き込み、横田氏は語る「北海道の発展に向け、互いに協力していきたい」って。次いで 6 月 14 日付道新に「6 次産業化担い手育成/農場研修や商品開発実践」の記事。農商工連携に取り組む NPO「FOOD'S 北海道発進本部（佐々木義之理事長）ー事務局 北海道セールスレップ協同組合」が、農水省 6 次産業化ネットワーク活動交付金等を利用して

「JGAP」認証取得農場研修、食品加工研究センターの協力を受けた商品開発実践等を行うとあり、資料が江別商工会議所 専務理事 久保泰雄氏より届く。必要あれば連絡ください。

この夏の研修会の始まりは、NHK HV 特集「すべては自然の贈りもの/西会津のお天気母さん」の再放送の視聴から。主人公は「鈴木二三子氏」です。「西会津 鈴木二三子 グリーンタフ工業」で検索してください。たっぷり楽しめます。

「カマリキの卵が低い所に着くと雪少なく、高い位置に着くと雪多い」「イモチも暑さ 28℃を超えると生きていけない。消毒は必要なく中が白くなると終了よ」「こぶしの花が多いと豊作、万作の花は凶作」「モスクワの天気は 10 日後の西会津に正比例。モスクワで雪が降ったら 10 日後会津で雪」など「うんずきたかり（好奇心旺盛）」の講演会は面白そう。

「根っこを焼かない、やさしい肥料。硫安は駄目、暑くて根っこが表面に出てる時、化成やったら一晩で真黒になって焼け死ぬよ」なんて指導もはっきりしてる。

うんずきたかり 鈴木二三子氏の活動が面白く、事務局の冨尾君に西会津に行って「鈴木氏と面談し講演が可能か」と依頼。

この時の報告書を添付。この報告書を見た時の小生の驚き、理解できますよね!?

設立した会社名グリーンタフは緑色凝灰岩。「雨あがりになると泡がぶくぶく出てくる岩がある」というのは、まさしく沸石、そうぜオライトですね。

「粘土食/ケイ・ミズモリ/身体を浄化する驚異の粘土食」「ミネラルサブリプレゼントとミネラルの重要性について（緑字記載部分参考）」「粘土食/自然強健法の超ススメ/ケイ・ミズモリ/ヒカルランド（出版元）前後編」「粘土の活用 MMS」まず、これらを検索してください。

食土についての資料は帯広畜産大学谷昌幸教授（前年夏期研修会講演）の先輩 筒井潔教授（地域環境学研究部門（本年 3 月末退官）の資料「土と水の科学/土と文明」「土に秘められた北海道の自然史」「土の始まり」を検索すると、本別 チエトイ、大勝太チエトイの写真も現れる。

清里 夏野君と訪れた陸別ユクエピラは、やはり「鹿が土を食べる崖」でアイヌの装飾遺跡ではないのでは。再度訪れる予定。

白老牛肥育にも粘土を利用とある。粘土の基礎知識は陶芸粘土種類などで検索すると「粘土のお話—ある粘土研究者の日記 ①お話 ②科学 ③鉱物・岩石 ④Q&A」がヒットし楽しいです。

前回の総会・春期研修会の案内では、小生も頭がザクザクとなったので、今回の案内はスマホ検索のできる範囲、長文のものは事務局坂井君に依頼して印刷・送付願いましたから会員各位もネット検索すれば小生と同じ位置で楽しく読み込めると思います。

「分類学の父」と称されるカール・フォン・リンネ（1707～1778）が、著書「自然の体系」で表した「自然物は鉱物界・植物界・動物界の三界に区分される。鉱物は成長する・植物は成長し生きる・動物は成長し、生き、感覚を持つ」を念頭に、この研修会を回したいと思っています。

文責 田中正夫

記

日時 平成 29 年 7 月 11 日 (火)
12:40~ 受付開始

場所 「札幌サンプラザ」
<https://www.s-sunplaza.or.jp/>
札幌市北区北 24 条西 5 丁目
TEL : 011-758-3111

挨拶 13:00~
北海道農業者サロン 理事長
喜多 俊晴

講演 13:00~14:30
「バターの間」から
北海道農業者サロン 理事長
喜多 俊晴氏

14:30~16:00
「福島西会津からの報告」
株式会社モスフードサービス
富尾 泰正氏

16:00~18:00
「イオン交換性粘土 ーイベントナイト・ゼオライト・珪藻土を語るー」
ノースマテリアル株式会社
代表取締役 古賀 卓哉氏

食事会 18:00~19:00
1F レストランフリースペース
※実費負担

会費 2,000 円

以上

夏期研修会参加申込書
(該当する□へ✓をお願いします。)

参加する

参加会員名： _____

同行参加者名： _____

連絡先： _____

参加しない

会員名： _____

【6月30日（金）までに参加の有無を必ずご連絡ください。】

【お問合せ先】

北海道農業者サロン事務局／(株)イーストウエスト東京事務所
〒102-0075 東京都千代田区三番町 7-5-105
Tel:03-3288-1888 Fax: 03-3288-2555
e-mail: salon@eastwest-tokyo.co.jp

FAX送信先：03-3288-2555
坂井あて